

肺機能（肺活量：SVC 努力性肺活量：FVC）

検査の目的 呼吸器疾患の重症度を調べたり、手術前に肺の状態をチェックするために
行います。

肺活量（SVC）

肺から出入りする空気の量を測定し、肺の大きさを調べる検査です。

努力性肺活量（FVC）

気道が狭くなっていないかを調べる検査です。





検査時間 2項目で15分程度

- 信頼性のあるデータを得るために、検査担当者の指示に従ってご協力をお願いいたします。
- 締め付けのある衣服は緩めていただきます。
- 運動直後は避けてください。




肺機能（肺活量：SVC 努力性肺活量：FVC）

検査の方法 鼻にクリップを装着し、マウスピースをくわえて口呼吸で検査を行います。
息漏れがないよう口元はしっかりと閉じて、技師の掛け声に合わせて検査を
行ってください。

肺活量（SVC）

- ① 安静呼吸（普段通りの楽な呼吸）を数回続けます。
- ② 吐けなくなるまで息を吐き切ります。
- ③ 吸えなくなるまで息を吸い切ります。
- ④ 再び吐けなくなるまで息を吐き切ります。
- ⑤ 最後に息を吸います。

努力性肺活量（FVC）

- ① 安静呼吸を数回続けます。
- ② 胸いっぱいまで息を吸い切ります。
- ③ 勢いよく一気に吐けなくなるまで息を吐き切ります。
- ④ 最後に息を吸います。

肺機能（機能的残気量：FRC 肺拡散能：DLCO）

検査の目的 肺活量・努力性肺活量に加えて、さらに精密に呼吸器疾患の重症度を調べる検査です。

機能的残気量（FRC）

最大限に息を吐き出しても、肺の中にはまだ空気が残っています。その量を調べる検査です。

肺拡散能力（DLCO）

吸い込んだ空気中の酸素は、肺で血液中に移動し全身に運ばれます。この肺における血液への酸素の取込み具合を調べる検査です。

検査時間 1項目15分

喫煙後24時間以上・食後2時間以上・飲酒後4時間以上あけてから検査を受けてください。




肺機能（機能的残気量：FRC・肺拡散能：DLCO）

検査の方法 鼻にクリップを装着し、マウスピースをくわえて口呼吸で検査を行います。息漏れがないよう口元はしっかりと閉じて検査を技師の掛け声に合わせて行ってください。

機能的残気量（FRC）

- ① 安静呼吸（普段通りの呼吸）を数分間続けます。
※可能な限り**一定の速度・大きさ**で呼吸を続けてください。うわずった呼吸にならないように、正しい姿勢でリラックスした状態で呼吸をしてください。
- ② 肺活量（SVC）と同じ検査を行います。

肺拡散能力（DLCO）

- ① 安静呼吸を数回続けます。
- ② 吐けなくなるまで息を**吐き切ります**。
- ③ 吸えなくなるまで**一気に息を吸い切ります**。
- ④ 10秒間軽く息止めを行います。
- ⑤ 吐けなくなるまで**一気に息を吐き切ります**。